



佐藤 文男 議員

ヒブワクチン接種の助成を

乳幼児の髄膜炎の原因としてヒブは最も高く、日本でも増加傾向にあると言われている。WHOはワクチンの有効性と安全性を評価し、すべての国に定期接種を勧めた。

定期接種した国々は発症が大幅に減少している。日本では任意接種のため3万円を超える全額保護者負担が問題である。国において公費負担による定期接種化をすべ

きと思うが、国が認めるまでの間の対応は、

ワクチン接種に対し助成すべきと思うがどうか。

日本では平成20年12月から使用可能となっていたが、ヒブワクチン以外にも任意接種があり、その取り扱いについては、検討していく。

民主党政権による事業仕分けによる影響について問う。



広がる独自助成

①見直しが想定される事業はどれくらいか。

②予算的影響はどうか。

③進行中の継続事業についての基本的な考えはどうか。

①県の資料から栗原市の受ける影響額など調査中である。

②国の平成22年度予算編成を注視していきたい。

③計画済みの事業が執行できるよう国・県に強く働きかけていく。



佐々木嘉郎 議員

瀬峰から水害を無くすには

10月8日の台風18号の対応について問う。

①洪水調整機能を持つ四分区調整池に水が入らず、瀬峰川と小山田川の堤防が越流直前だった。東北本線下流の小山田川の支障木が原因と考えるが、県土木事務所として連携をとり、管理を万全にすべきではないか。

②瀬峰駅前の下水マンホールポンプは、大雨が降ると作動せず汚水



小山田川周辺の冠水した農地

が噴出する。原因を究明し、対策をとるべきではないか。

③瀬峰駅前、雨に非常に弱い。水が集まる地形であること、JR東北本線から下流に流れにくいことが原因ではないか。JRの横断管渠が小さいのではないか。コンクリート排水路が狭く水を飲みきれないのでないか。線路沿いの排水路が全て砂利などで埋まってしまっているからではないか。これらについて、JRと速やかに協議する考えはないか。

①四分区や蕪栗沼上流域の治水対策として、遊水地本来の機能維持保全を、県に強く働きかける。②停電によりポンプが停止した。ポンプの老朽化が原因ではない。本年度中にマンホールのかさ上げをする。③排水能力や構造など、線路を横断しないと下流に流れない特性であるため、JRと速やかに協議していく。



佐藤 千昭 議員

市内の就職支援策は

国では、追加経済対策での雇用対策を行い、県や県内市町村でも就労支援に取り組んでいる。市も企業の深刻な就職難に対応して、独自支援策を検討しているが次の点について問う。

①高校卒業予定者の就職支援と大学(短大・専門学校など)卒業予定者の市内就職支援について。②離職による失業者に対する再就職の支援について。

③地元企業の育成支援は。

①高校卒業予定者の就職状況が厳しいことから雇用拡大奨励金制度の拡充を図った。大学などの新規卒業生に対する支援は、就学先の地域や対象者が広範囲に及ぶことなどから、現在は検討していない。

②離職者を雇用した事業者への奨励金支給制度や国の交付金事業を活用して雇用を創出した。再就職

に向けて技術習得訓練などを開始した方への支援制度を創設する。③融資制度として、新たな雇用を創る事業所に対する雇用促進奨励金などを交付している。また、新設や増設を行う事業者に対する企業立地促進奨励金の交付をおこなっている。

特定商取引法が改正された。市の消費生活相談員の設置は。県の相談員と連携をとり対応



雇用奨励金に関する報道

1 社指名随意契約は
財務規則違反では



すがわら ゆうき 議員
菅原 勇喜

Q 若柳中学校建設実施設計業務の入札は、基本設計を予定価格970万円に対し、24・2割の235万円で受注した日新設計(株)が1社指名された。3回入札見積もりの末、予定価格3330万円をわずかに30万円下回る予定価格対比99・09割の3300万円で随意契約している。

鶯沢幼稚園建設実施設計業務の入札は、基本設計の予定価格28

3万円に対し、67・13割の190万円で受注した(株)菅伸建築設計事務所が1社だけ指名され随意契約している。1社指名にも関わらず3回目ですと640万円にたどりつくという入札見積もり経過で、予定価格対比100割である。

栗原市財務規則によれば随意契約できるのは、130万円以下と定められており、財務規則違反ではないのか。

A 実施設計にあたっては、市の設計方針と建設に関する協議内容を熟知し、一貫した設計理念と技術的見地を最大限反映させることが肝要である。このことから工事の基本設計に総合的に携わり、設計内容および現場状況に精通した業者と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づき随意契約した。



改築される若柳中学校

両立させよ
サービス向上と効率化



せとけんじろう 議員
瀬戸 健治郎

Q 栗市町村課の財政指標によると、栗原市はもとも財政力の弱い9町1村が合併したので「人件費や物件費の占める割合を引き下げなければならない」とある。行政改革の取り組みと内容は、

A 民間で行うことによりコスト低減やサービス向上が可能な事業について、指定管理や業務委託を進め定員適正化との整合をとっている。また、市民からの意見や評

Q 会場準備七料金がかかる。県境を越えたスポーツ少年団



会場準備七料金がかかる

の大会に際し、市、教育委員会、体育協会の後援を頂いているにもかかわらず、施設の利用料金が100割減免にならないのはなぜか。また、利用規定第12条、第14条の6、指定管理者はあらかじめ教育委員会に減免について伺いを出したのかどうか。

A 指定管理を任せただけで、規定に基づいていくのが望ましい。現在の教育長になつてからは無い。

Q 市長は来賓としての出席に際し、祝辞や挨拶だけではなく、施設の管理状況や接遇、大会の運営、怪我の状況などさまざまな面にも気を配っていると思うが出席の基準をどう考えているか。

A 土、日は毎日のように出勤している。同時開催の場合は、代わりに総合支所長などを必ず出席させるようにする。

行政改革の
方向性を示せ



みうら よしひろ 議員
三浦 善浩

Q 行政組織再編の方向性や時期について問う。

A 行政組織の見直し方針に基づき、中長期の組織の姿として、総合支所の支所化、出張所化について検討している。その後の廃止については、現段階では視野に入っていない。萩野支所、細倉出張所廃止の方向付けについては、今後ご理解いただけるよう努力し、進めたい。

Q 介護現場の現状と課題は、地域の介護力向上に向けては、

A 地域ケアネットワークなどの整備を積極的に推進していく。家族介護者の生活支援については、実態を把握しながら必要な生活支援を検討し、対応していく。高齢地域などへの取り組みについては、地域の要望や特性を生かした事業を検討し、進めていく。



萩野支所

Q 子どもと女性のワクチン接種について問う。

A ヒブ(Hib)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン接種に対する助成は現在おこなっていない。他にも、おたふく風邪や水痘など任意の予防接種がある。市における任意予防接種に対する助成制度については、検討していく。

私もひとこと

「富市栗原」の創造を



鈴木喜典さん
(鶯 沢)

岩手・宮城内陸地震の際は、産学官民が一体となり、「がんばろう栗原」を合言葉に復旧活動に全力で取り組んでいただき、心から感謝申し上げます。我が家でも土蔵、板倉などが全壊する被害を受けました。多くの議員さんが見えられ、励ましの言葉をいただき、大変心強く思いました。

さて、昨今の社会は、政治、経済、教育など、先の見えない不安定な状況の中で、市民の皆さんは苦境に立たされています。今こそ30人の議員各位が一丸となり、避けて通れない地方分権社会の中で、「富市栗原」を創造してみたいかがでしょうか。議会改革はもちろん、栗原の自立に向けた産業の振興などの政策提言は、枚挙にいとまがありません。「時かぬ種は生えぬ」といいます。市議会の崇高な意思のもと、生き抜く知恵とたゆまぬ努力をもって市民1人1人の夢が叶えられる、豊かな栗原市になることを切に願うものです。

新年祝賀会に参加して

久しぶりに新年祝賀会に参加させていただきました。国会議員・県議会議員ほか大勢の皆様のご列席のもと、内外共に暗いニュースの昨今、新年に向かっての市長さんのご挨拶に明るいきざしが見え、心にきざまれるものがありました。震災から1年半が過ぎ、白い頂の栗駒山も今年は四季折々の景観を楽しませてくれる事でしょう。ホッとな気持ちにさせてくれる数々の温泉も徐々に復興し、私たちのいこいの場所となりました。

阪神淡路大震災から15年。復興してもいろいろと問題を抱え、都市型の震災の恐ろしさを感じます。市長さんは、これからが正念場ですと話されていました。どうぞ議会の皆様、今年の目標に向かって、市民1人1人の幸せのために健康に留意され、今後の栗原の政治にまい進されることを期待します。



石川セイ子さん
(金 成)



大晦日から降り続いた近年まれに見る大雪は、栗原耕土を白銀の世界へと変え、久方ぶりの正月風景をもたらしました。

昨年は、市花・市木に続き市の歌が制定され、より一層栗原市の一体感が醸成されましたが、景気低迷による雇用不安や企業の撤退など市民生活にも大きな影響を与えています。

一方では、新たな誘致企業である太平洋工業株式会社の平成22年5月操業などがあり、景気回復の一躍になるよう期待しています。

市議会だよりも今号から議会・委員会の審査内容を皆様にお知らせできるよう紙面構成を大きく変更しました。皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

阿部 貞光

- 議会広報編集調査特別委員会
- 委員長 小岩 孝一
 - 副委員長 千葉 健司
 - 委員 大瀧 信子
 - 委員 阿部 貞光
 - 委員 三塚 貞光
 - 委員 佐藤 文東
 - 委員 大塚 健一
 - 委員 富田 正夫
 - 委員 阿部 敏夫
 - 委員 長加 藤雄八郎